

「まずは自らが学ぶことを楽しむ」

専門分野の「学び」を自ら積極的に追究することで、子どもたちの多様な考えを引き出すプロフェSSIONALを目指します。

「社会に向き合う力を持った子どもたちを育てるために、さまざまな視点から学びを深める」

現代社会が抱える諸問題に向き合い、自ら考えて行動できる子どもを育てることができる、確かな実践力を持った教員の育成を目的とします。社会科教員にとって必要な基礎を育成する「専攻基礎科目」を学び、専門的資質や能力を高める「専攻科目」や「教職実践開発科目」で確かな実践力を身に付けます。

4年間の学び

1年次は基本的なことを幅広く学び、2年次以降は、地理学・史学・哲学・法経社の4つの履修コースに分かれて、専門性を深めるための学修を進めていきます。どの履修コースに進んでも、社会科教育学を共通して学びます。3年次になると、履修コースの中で所属するゼミを決定し、より専門的な研究を進めます。また教育実習など、教職に向けた実践的な学びも増えてきます。4年次には、教員採用試験などに取り組むとともに、ゼミの教員の指導を受けて、学修課程の総決算としての卒業研究を進め、卒業論文を完成させます。

特色ある授業・ゼミ紹介

地理学コースでは1年に1度、野外実習というかたちで日本各地に出かけていき、現地を巡検したり、フィールドワーク調査に挑戦しています。



2022年 2年次前期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等体育科 教育内容A		初等社会科 教育法B	初等生活科 教育内容A	
2時限	初等国語科 教育内容A	地理学実験	初等音楽科 教育法A		
3時限	スポーツII	教育システム論	この時間を使って「学校体験活動I」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。	哲学史概説I	中国語II
4時限		英語コミュニケーションII		社会調査論	地誌概説I
5時限				史学概論	

*上記時間割で示した授業科目以外に2年前期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。

主な授業科目

- 地理学基礎(Ⅰ、Ⅱ)
- 地理学特論(Ⅰ、Ⅱ)
- 地誌概説(Ⅰ～Ⅲ)
- 地理学野外実験(Ⅰ、Ⅱ)
- 外国史概説(Ⅰ、Ⅱ)
- 日本史概説(Ⅰ、Ⅱ)
- 外国史特論(Ⅰ、Ⅱ)
- 日本史特論(Ⅰ、Ⅱ)
- 史学概論
- 地域史演習(Ⅰ、Ⅱ)
- 哲学概説(Ⅰ、Ⅱ)
- 倫理思想史概説
- 哲学の諸問題
- 法学概論
- 政治学概論
- 公法学概論
- 社会学概論
- 経済学概論
- 社会調査論
- 金融論

取得できる免許

【卒業要件に含める免許状】

小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状(社会)

【取得を優先して薦める免許状】

中学校教諭一種免許状(社会)

【所定の科目履修で可能とする免許状】

高等学校教諭一種免許状(地理歴史もしくは公民)
◎幼稚園教諭二種免許状
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice



初等教育教員養成課程
社会選修4年
東京都立
目黒高等学校出身

*学生の所属は改組前の名称です

社会問題に関心の高い仲間との会話が刺激的。
変化し続ける社会に対応できる教師でありたい。

議論型の授業「現代政治論」では、自分の考えを伝え他の学生の考えを知ること、新たな視点で歴史や政治を学ぶことができます。社会に対して問題意識を持っている学生が多く、知見の高い先生による少人数制指導により深い学びが得られます。また地域教材の開発に興味があり、全国の幅広い教材が取り扱われる中で、教科書の内容を身近な地域教材に置き換える方法や理論を学んでいます。変化し続ける社会の中で、子どもたちが自ら問題点を追究する意識を持てるような授業を行いたいと思っています。